

病院歯科・口腔外科 医療用語集

- 第1章 医局・医療スタッフ
- 第2章 診療科名
- 第3章 病院・医療
- 第4章 病歴関連用語
- 第5章 治療方針
- 第6章 解剖学用語
- 第7章 病理組織学的診断
- 第8章 腫瘍に関する用語
- 第9章 再建術
- 第10章 画像診断
- 第11章 現症
- 第12章 既往歴・疾患名
- 第13章 感染症
- 第14章 歯科・口腔外科の病名
- 第15章 薬物療法
- 第16章 薬剤
- 第17章 輸血・骨髄移植
- 第18章 注射法
- 第19章 化学療法
- 第20章 免疫療法・分化誘導療法
- 第21章 処置・治療
- 第22章 器材
- 第23章 バイタルサイン
- 第24章 尿検査
- 第25章 クレアチニンクリアランス
- 第26章 血液ガス分析
- 第27章 臨床検査
- 第28章 腫瘍マーカー
- 第29章 放射線療法
- 第30章 食事療法
- 第31章 看護用語
- 参考文献
- あとがき

デンタルオフィスみなと 1st edition 1998.6.19

英：英語 独：ドイツ語 ラ：ラテン語 仏：フランス語 同：同義語 略：略語 例：使用例
形：形容詞 関：関連事項 反：反対語 和：日本語 和製英：和製英語 商：商品名
注：注意事項

第30章. 食事療法

エッセン	Essen[独] 食事 ◇ 患者さんに分からないように食事に行くときに、「エッセンに行く」などと言う。
オーガニック食品	organic food[英] オーガニックとは有機的という意味であるが、有機栽培の農作物を用いた商品群をさす。
重湯	rice water[英]
かゆ	rice milk[英]
間食	eating between meals[英]
キシリトール	xylitol[英] 天然素材の甘味料の一つで、樹木からとれる炭水化物キシランを原料にしたキシロースを還元して糖アルコールにしたもの。キシロースもキシリトールも食品添加物の甘味料として許可されているものである。キシリトールは砂糖と同程度の甘さで、清涼感がある。低吸収性の甘味料として糖尿病など医薬用に限定されていたが、1997年4月17日から食品への使用が許可された。唾液の分泌を高める、歯垢中の酸を中和するといったことから、虫歯予防に効果があることがフィンランドやカナダで証明された。まずチューインガムに使用され、さらに、低吸収による肥満防止などから、各種の菓子類に利用されている。
経管栄養	tubal feeding[英] (同)nasal feeding[英] 鼻腔栄養 口から摂取できない患者の口腔、鼻腔より胃にチューブを挿入し、または腹腔を通し、直接胃、腸管内に流動物を注入する方法。在宅医療の項参照。 ①成分栄養剤(ED:elemental diet)(医薬品扱い): エレンタール ^R (散1袋80g, 300kcal)、ツインライン ^R (400ml, 400kcal)など。 (例)Rp)エレンタール(80g) 4袋 28日分 ②半消化態栄養剤(低残渣食LRD:low residue diet)(医薬品扱い): エンシュアリキッド ^R (250ml, 250kcal)、エンシュアH ^R (250ml, 375kcal)、ハーモニックM ^R (500ml, 500kcal)、エンテールド ^R (100g, 400kcal)など。(例)Rp)エンシュアリキッド6缶(バニラ味)(2-2-2) 14日分 ③濃厚流動食(highly concentrated liquid nutrition)(食品扱い)には、テルミール ^R (200ml, 400kcal)、テルミールf ^R (200ml, 200kcal)、L-4 ^R (200ml, 300kcal)、アイソカル ^R (200ml, 200kcal)、ライフロンPZ ^R (200ml, 200kcal)、ファイブレンYH ^R (250ml, 250kcal)などがある。 【経管栄養の目的(適応)】 ①嚥下障害: 嚥下機能消失(植物人間など)、嚥下機能低下、誤嚥防止(神経麻痺など)、組織欠損(軟口蓋欠損、舌全摘後など)。 ②咀嚼障害: 開口障害(瘢痕など)、閉口障害(腫瘍など)、手術・外傷後(顎堤欠損、顎間固定など) ③創傷の保護・安静: 疼痛防止、汚染(感染)防止、後出血防止、創傷開防止、生着障害の予防(植皮部の安静、皮弁等の血行障害の防止)、広範囲の口内炎
固形食	solid diets[英] 流動タイプや粉状ではなく、ある一定の形をもった固形の食事をいう。
ジャンクフード 常食(じょうしょく)	junk food[英] 駄菓子のようなもの (関)junk[英] がらくた general diet[英] 病人食の一部である一般食のなかで、主食をご飯とした固形食をいう。病人食の中で最も制限が少なく、日常の食事に近い。(同)普通食
食上げ 食習慣 食事箋(しょくじせん)	食事の流動性を減らし、常食に近づけること。(同)食事up dietary habit[英] 食事の内容について医師からの指示を記載したもの。個々の患者の治療方針に沿った食事内容を給食部門に依頼する。
食事療法	diet therapy, dietetics(治療食)[英] 栄養障害、消化吸収能、さらに各種代謝に異常がある疾患に対し、その是正をはかるために行う栄養治療法である。
食止(しょくどめ)	検査等の必要性から患者の食事を停止すること。(同)禁食

特定保健用食品

食品中に含まれる生体調節成分の機能を生かして作られる食品。一般に機能性食品とよばれてきたもので、厚生省は1990年11月、「食生活において特定の保健の目的で摂取する者に対し、その摂取により当該保健の目的が達成できる旨の表示をする食品」として、栄養改善法により法規制を受ける特別用途食品の一種として位置づけた。同法第12条第1項に基づき、厚生大臣の許可を受けなければならないものとして、平成3年9月1日からスタートした。この制度は、食品に機能性を表示する世界で初めての制度として、欧米からも注目を集めている。平成9年10月現在、79商品が許可されている。(例)ファイブミニ、明治ブルガリアヨーグルトLB81など。

特別食

special diet[英]直接食餌療法の効果を期待するもの。
(例)腎臓庇護食(kidney-protecting diet)、糖尿病食(diabetic diet)、潰瘍食(ulcer diet)、高カロリー食(high caloric diet)、減塩食(low salt diet)、心臓病食(cardiac diet)、蛋白制限食(protein restraining diet, low protein diet)、肝臓食、検査食、術前食、術後食など。

軟食

soft diet[英] (例)全粥食、七分粥食

2食アップ

2食ごとに食上げすること。

半流動食

semi-soft diet[英] (例)五分粥、三分粥

フレンチ パラドックス

French paradox[英]ワインを水がわりに飲む習慣があるヨーロッパで、フランス人だけが狭心症や心筋梗塞の心臓病が極端に少ないこと。フランス人が主として赤ワインを飲むことに原因がありそうという論文が1992年に「ランセット」に掲載された。1993年には同誌に、赤ワインに含まれるポリフェノールという化学物質が原因、と推定する論文が掲載された。

流動食

liquid diet[英]固形分を含まず流動状の食事で、重湯、くず湯、果汁、牛乳、卵、各種スープ、バター等が使用される。

βカロチン

β-carotene[英]ビタミンAの前駆物質。緑黄色野菜が胃癌をはじめとするさまざまな癌の予防をしている可能性が示されている。ビタミンA、C、Eなどの抗酸化物質としての作用が評価され、特にβカロチンについては多くの研究がなされた。そしてその後の研究でβカロチンの過剰摂取は、肺癌や心筋梗塞を起こすことがわかり実験は中止された。

◇ まだまだ自然食品のなかには未知の物質があると思われ、βカロチンのように単一抽出物質による癌予防よりは多種類の食品をむらなく摂った方がよいと思われる。

DHA

docosahexaenoic acid[英]ドコサヘキサエン酸

サンマ、マグロなどの魚の脂肪を構成する多価不飽和脂肪酸の一種。記憶力の向上、老人性痴呆症の改善、動脈硬化の防止などの作用があるとして注目されている。

EGCG

(-)-epigallocatechin gallate[英](-)-エピガロカテキンガレート

緑茶には茶渋の成分である茶カテキンが含まれている。その主成分であるEGCGが発癌プロモーションの段階を抑制することが報告されている(Phytother Res 1:44-47, 1987)。一日10杯(1リットル)以上の緑茶は癌のリスクを減少させる。こうした研究結果から、緑茶錠剤も開発されている。

第31章. 看護用語

(1) 概論

明け	深夜勤務が終わった朝のこと。通常、深夜勤務の翌日は「深夜明け」といって仕事はない。(関)入り
圧迫包帯 安静度	compression bandage[英] bed rest level[英]安静は疾病治療の基本であるが、医学的取り決めはなく、各病院病棟の医師の指示するもので、患者の状態に合わせて段階がアップされる。 (例)絶対安静(CBR)、ベッド上安静、病室内フリー、病棟内フリー、院内フリーなど。
安静臥床 床上安静	rest in bed, bed rest[英] (同)床上安静、臥床安静 トイレや洗面時のみは歩行してもよいが、1日30分程度のベッド上の起座以外はベッド上ですごすこと。
絶対安静	absolute rest, complete bed rest (CBR)[英]すべての身辺介助を必要とし、終日ベッド上で仰臥すること。
罨法	application of heat and cold[英]罨法とは、身体の一部に温熱または寒冷刺激を適用する方法である。
温罨法 冷罨法	hot pack[英]温罨法は、ホットパックと呼ばれる。 cold pack[英]クーリングの項を参照。
医師指示表	doctor's order sheet[英]看護記録の一部であり、医師から患者に行う与薬、検査、治療処置、注射などの指示が示される用紙。 (同)指示簿 (関)order[英]指示 ◇ 医師の指示は、法的には口頭でもかまわないとされているが、その記載は行っておく必要がある。正しく伝え、誤りを防ぐという意味から文書による指示が望ましい。
移送	自分で歩けない患者や歩いてはいけない患者などを検査や治療・手術の目的で病室もしくは外来などから検査室・手術室・外来・病室・放射線治療室などへ運ぶこと。患者の状態に合わせて輸送車(ストレッチャー)や車椅子、担架などを選ぶ ⁴⁰⁾ 。
1スト	1 Stunde[独]ストは時間の意味の略。バイタルサインを1時間おきに測定すること。
イブニングケア	evening care, PM care[英]就寝前の看護ケア 夕方、ベッドの乱れを直し、洗面や排泄をすませるなど、病室環境を整えること ⁴⁰⁾ 。
イン/アウト	intake and output[英]水分出納 輸液などを行う際には、原則として入量(intake)=出量(output)になるようにする。入量が多過ぎることをインオーバー、出量が多過ぎることをアウトオーバーという。術後管理の項、デハイドの項を参照。 ◇ サードスペース(third space) 一目に見えない体液の喪失—腸閉塞(イレウス)、腹膜炎、膵炎、術後では、その周囲に組織間液が浮腫として貯留したり、血漿成分が多量に腹腔内に流れ出たりする。また、損傷・炎症組織や漿膜、筋肉などの組織間質に体液がにじみ出す。これらの液は動かずにそこにたまったまま周囲から隔離された状態となっている。これをサードスペース(非機能的細胞外液)という。サードスペースの増加は、血漿、機能的細胞外液、細胞内液を減少させ、尿量低下を来す。この貯留液は次第に血管内に移動し、尿として排泄される。 ◇ インとアウトが同じくらいのことをNsは「トントンです」などと言う。
入り 陰洗(いんせん)	深夜勤務につくこと 陰部洗浄。麻痺や意識障害で自分で陰部が洗えない人にナースが行う ²⁹⁾ 。
円座 エンゼル ケア	ring[英] angel care[英]亡くなった患者さんの遺体をきれいにするために綿球など、処置の必需品がセットになっているもの。あるいはその処置のこと ²⁹⁾ 。
オーバー テーブル	over bed table[英]オーバー ベッド テーブルを短くオーバー

オペ出し
お見送り

テーブルと言っている。ベッドの上で使えるようになっている机で、足がついている²⁹⁾。

手術室へ患者さん(オペ患)を連れて行くこと。

病院で亡くなった患者さんを一般の出口からでなく、専用の出口から送り出すこと。出棺の時間には担当医やナースは出棺を見送ることが望ましい。

温度板

Karte[独]看護日誌 (同)温度表

体温(T)、脈拍(P)、呼吸(R)、血圧(BP)をグラフによって示すほか、検査、食事、排尿、排便回数、身長、体重などを記入し、患者の状態の概要を断続的に見ることができる。

①一般に

体温(T)→青

脈拍(P)→赤

呼吸(R)→黒

で示される。

②病日は黒字で、術後日数は赤字で記載する。入院と退院は黒字で何時何分と記し、死亡退院のみ赤字で書く。

③手術名、抜糸は赤字で書く。輸血は血液量を、出血は量をとともに赤字で記す。

④化学療法、抗生物質など特定の薬剤を用いた場合は決められた色鉛筆でわかりやすく示す。麻薬の場合は赤色でマル麻(○の中に麻と書く)と示す。

⑤尿、便の色、回数は1日間のtotalを正確に記載する。血尿のあった期間は赤印をする。浣腸の場合、1/GE、または青色で1と記す。便は種類によって記号で示す場合もある⁴⁰⁾。

ガウン テクニック

gown technique[英]感染に対して抵抗力の落ちている患者さんの病室に入るときに特別に用意された白衣や帽子をつけること²⁹⁾。汚染区域(unit)内にガウンを掛ける場合は、汚染された表を外側に、清潔な裏を内側にする。清潔区域内にガウンを掛けておく場合は、その反対にする。決してガウンの内側と外側を接触させてはならない。

隔離法

isolation technique[英]感染症患者あるいはその疑いのある患者、および患者の使用した物品や寝具、衣類など感染の危険性のあるものを、一定の期間、ほかの者から引き離して一定の場所に隔離し、病原体が他の人々に伝播するのを防ぐ方法。

カーデックス

cardex[英]個々の患者に関する情報、治療処置、看護計画などを一括して記入したカードをビジブル・ブックに挿入して、病棟ごとに患者全員のものをまとめたもの⁴⁰⁾。

◇ もともとカーデックスはビジブル・ブックの中の一商品名であったが、看護で便宜上特有の用い方をしたのが定着したものと思われる。ビジブル・ブックは、はめ込み式で取り外しのできるカードでできており、カードの端が一枚ごとに少しずつずれて見出しのようになるので、そこに患者名などが書きこまれ、個々の患者のところを開いて見るときに便利になっている。1枚のカードに全部記入する場合もあるが、開いたときに上下2枚のカードを1組として1人の患者に用いているものが多い⁴⁰⁾。

看護

nursing[英]

看護記録

nurse's record[英]看護婦によって記載される個々の患者について看護上必要な諸記録。

看護体制

2交代制と3交代制があり、後者は主に基準看護をとっている病院で実施されている。

日勤(につきん)

(例)08:30-17:00 daytime service[英]

準夜(じゅんや)

(例)16:30-01:00 (同)準夜勤

深夜(しんや)

(例)00:30-09:00 (同)深夜勤

感染管理看護婦

infection control nurse (ICN)[英]

逆隔離

reversed-isolation[英]感染に対する抵抗性の低下した患者(易感染患者 compromised host)を、交差感染から守るための隔離。

救護区分

病棟では患者の状態に応じ、救護区分が明確に表示されている。患者さんを緊急の際にどうやって危険なところから移送するか、

	その程度を表す。一般に、担送、護送、独歩というように分けられている ⁴⁰⁾ 。
勤務表	ナースの1か月の勤務が一覧表になったもの。
クーリング	cooling[英]氷冷 解熱に効果的な氷枕等の貼用位置は、頭部、頸部、腋窩部、鼠径部、背部である ⁵³⁾ 。
ケア	care[英]看護、注意
外科的無菌法	surgical asepsis[英]あらゆる微生物をとり除いた無菌的環境を作ろうとする方法を外科的無菌法という。
ケリーパッド	Kelly pad[英]ベッドの上で洗髪するとき、周囲を汚さないようにするために使うゴム製の用具。
検温する	take one's temperature[英]
在宅看護	home nursing, home health care[英]在宅ケア 在宅で療養、生活する患者や老人、障害者に対して行う日常生活の世話。
ジーイー	glycerine enema (GE)[英]グリセリン洗腸
指示棒(しじぼう)	指示を書いたカルテのページに挟んで置くための定規状のプラスチック板。
術前指示	preoperative orders[英]
術後指示	postoperative orders[英]
巡視	round(ラウンド)[英]回診 病棟内の全患者に異常がないかどうか、決められた範囲を見回ること。
準日勤(じゅんにっきん)	準夜勤務を行って、翌日朝から日勤をすること ²⁹⁾
深々(しんしん)	通常は深夜の次の勤務は準夜で勤務が組まれることが多いが、深夜の勤務が連続することがある。これを深々(しんしん)という。
スプレッド	spread[英]ベッドを覆う布
清潔	cleanliness[英]清潔とは、物体の表面に病原微生物が付着していない状態をさす。清潔区域(clean area)とは、病原微生物によって汚染されていない区域をいう。(反)汚染(contamination) ◇ 清潔手術とは無菌操作に破綻がないものを指すが、清潔手術を行ってもなお、創感染率は約2%であり、その感染源としては、環境常在菌、手術器具、術者の手指などからの汚染が考えられる ⁴²⁾ 。 ◇ 外科的消毒法とリスター(Lord Joseph Lister, 1827-1912) 1840年代では医師が死体解剖の直後に分娩を行うことも珍しくなく、産科病棟は常に産褥熱に悩まされた。1847年にはハンガリーの医師ゼンメルヴァイス(1818-1865)が産褥熱の原因は産科医の手や器具に付着した感染物質にあると指摘したが、不当にも激しい非難を浴びた。ようやく1867年、イギリスの外科医リスターがパストゥールの功績に基づき、石炭酸による消毒を用いた“防腐的創傷治療法”を発表した。リスターの消毒法と被覆包帯は防腐法の発展に著しく貢献した。その後、防腐法が無毒法に移行していったことは周知の事実である ⁵¹⁾ 。リステリン ^R 液は、リスターが感染を防ぐ消毒薬として種々検討したことに由来し、120年近い歴史をもっている洗口剤である ⁶³⁾ 。
清拭(せいしき)	bed bath[英]身体をふいて清潔にすること (注)「せいしき」は「せいしょく」の誤読である。
体位	posture, body position[英]
会陰位	perineal position[英]
臥位	recumbent position[英]仰臥位(背臥位)(face-up position, supine position, dorsal position)、腹臥位(prone position)、左側臥位(left lateral position)、右側臥位(right lateral position)など。
甲状腺位	thyroid[英]
坐位	sitting position[英]半坐位(half sitting position)、フォー

	ラー体位(Fowler's position, 頭部高位 head up)、うずくまり(squatting position)など。
シムス体位	Sims's position, semiprone position[英]左側臥位で前傾し、膝関節を屈折した体位。
手術体位	operative position[英]
切石位(碎石位)	lithotomy position[英]仰向けになり膝を曲げて両足を上げるという婦人科の診察などでとらせる体位。
頭部低位	head down[英]
トレンデンブルク体位	Trendelenburg's position[英]骨盤高位 血管性ショックの場合、仰臥位で下肢を挙上し静脈還流量を増加させる。
胆石位	gallbladder rest[英]
右腎位	right kidney[英]
立位	standing position[英]
体交(たいこう)	change of position[英]体位交換 身体の位置を変えること、同一姿勢によって一定部位に体重がかかる圧迫瘡や、うっ血を軽減して、褥瘡、肺炎を予防する。また、気分転換にもつながる。
蓄尿びん、蓄尿器	urinal[英]
手洗い看護婦	scrub nurse, silks nurse[英]直接介助看護婦、器械出し看護婦(関)circulating nurse, runner[英]手術室で全体の世話をする看護婦
丁字帯(ていじたい)	T-bandage[英]T字帯とも書く。陰部を覆うためにT字形をした布。
剃毛(ていもう)	shave, shaving of field of operation[英]手術部位および周辺の体毛をカミソリで剃ること。剃毛は手術直前に行うことが感染率が少ないため望ましい。実際には、看護婦の勤務体制上困難なため、前日に行うことが多い。眉毛は剃毛しない(まれに生えてこないことがあるため)。 ◇ 剃毛による皮膚損傷は感染の危険性を高めるという考えから、従来の剃毛の是非が検討されている。除毛クリームを用いる方法も提唱されている。
デクビ	decubitus[ラ]褥瘡 bedsore[英] 長時間臥床している時に、骨の突出した部位の皮膚および軟部組織が、骨と病床との間で長時間の圧迫のために循環障害を起こし、壊死となった状態。潰瘍化すると非常に治療が困難になるので、予防が大切である。そのためには、①頻回の体位交換(原則的には2時間ごと)、②スキンケア(清拭、アルコール清拭)、③好発部位へのクッション使用、④栄養管理、を行う。 ◇ 毛細血管圧は25-32mmHgとされ、これより高い圧迫が加わると血行は停止する。血行停止が長時間、あるいは繰り返されると組織損傷が生じる ¹⁰⁾ 。 ◇ 円座は周囲が圧迫されることにより中心部の血行を増悪させる危険があり、使用すべきでない ¹⁰⁾ 。 ◇ 創傷治療に対する近年の知見では、創を乾燥させ痂皮形成をうながす処置は治癒を遅らせるものであり、何らかの方法で創を密封し滲出液を創内に貯留させて利用し、湿潤環境を保つほうが治癒が早いと判明した ¹⁰⁾ 。

【褥瘡治療に用いる薬剤等】（国立療養所愛媛病院の処方例）

用途	商品名
洗 淨	イソジン、ヒビテン、オキシドール
血流改善	モビラート軟膏、ヒルドイド軟膏
炎症抑制	アンダーム軟膏
感染予防	ゲンタシン軟膏、ゲーベンクリーム
感染コントロール	イソジンゲル、カデックス、ユーパスタ(イソジンシュガー)
外用剤	
浸出液のコントロール	ユーパスタ、カデックス
浮腫の軽減	(カルトスタット)
創面の清浄化	エレース軟膏、カデックス、バリダーゼ局所用
肉芽形成促進	オルセノン軟膏、リフラップ軟膏
創表面の乾燥	亜鉛華単軟膏、ユーパスタ、テガダーム、オプサイト、テガソープ
被覆材	デュオアクティブドレッシング、カルトスタット、ソフラチュール 創傷被覆材の項参照。

排便	stool extraction[英]便秘(constipation)により直腸内に停滞している便を排出するために直腸内に手指を挿入して便を摘出することをいう。(関)Kot(コート)[独]糞便
電話指示	telephone order (TO)[英]医師指示表の項参照。
内科的無菌法	internal asepsis[英]伝染病またはその疑いのある患者に接する場合に、病原体をできるだけ狭い空間にとどめて処理する方法を内科的無菌法という。
ナース コール	nurse call[英]
ナース ステーション	nurse station[英]看護婦室 病棟・外来で看護婦が活動する拠点。
日誌記載	charting(チャートイング)[英]
入浴許可	bath room privileges (BRP)[英]
徘徊(はいかい)	poriomania, fugue[英]目的がはっきりしないまま歩き回ること。
微温湯	tepid water[英]
氷枕(ひょうちん)	ice-pillow[英]氷まくら (関)ice bag[英]氷のう
プライマリー ナーシング	primary nursing[英]個別看護方式、プライマリ看護 一人の患者の入院から退院までの看護を一人の看護婦が一貫して行う方式。
包交(ほうこう)	dressing change (DC), change of bandage[英]包帯交換
包交車(ほうこうしゃ)	入院患者の包帯交換を行う際に必要な医療材料と医薬品を積んだカート(cart)。
無菌操作(滅菌操作)	aseptic manipulation[英]無菌操作とは、使用される物品、適用する部位、操作を行う手(または鉗子類)が、ともに滅菌状態を保ちながら行われる操作をいう。外科的無菌法の一つである。患者に病原体を伝播しないために必要な技術で、手術ではもっとも完全な無菌操作が要求される。注射、導尿、創傷部の包帯交換などのときも、無菌操作で施行される。操作にあたっては、清潔、不潔の区別を明確に認識し、良心的な態度で、注意深く行うことが大切である。
申し送り	handing over[英]勤務交代時の引き継ぎ 患者の病状報告、および麻薬の引き継ぎ、その他連絡事項を勤務交代時に行う。 全国的にほとんどの病院で口頭による申し送りが実施されている。
深夜→日勤	08:35 まで
日勤→準夜	16:30 ~17:15 まで
準夜→深夜	00:30 ~01:00 まで
	◇ 仕事の初めに、申し送りで長時間拘束される状況は、看護婦たちの独特の行動パターンであり、他職種から見れば異様な、理解されない一面である。医師側からも、申し送り時は看護室に入りづらい、その間は看護婦たちが相手にしてくれない、時間の無駄遣い等、申し送りのデメリットが指摘されている。看護婦たち

の多くが、申し送りの利点は認めるものの、改善の必要を常に感じてきたことは、学会や誌上からも伺え、こうしたことから「申し送りの廃止」という動きもある⁵⁰⁾。

◇ ベッドサイドでの申し送りをウォーキング カンファレンス (walking conference) という。直訳すると「歩きながらの申し送り」となる。

沐浴(もくよく)
モーニング ケア

bathing[英]浴槽内で体を洗うこと。(同)入浴
morning care, AM care[英]早朝に行われるケア
朝、洗面とともにベッドや寝衣の乱れを直し、髪をとき換気をするなど病室を整備すること⁴⁰⁾。

抑制帯
リネン

restrainer[英]患者を抑制する帯。
linen[英]亜麻(あま)を使った織物のことで敷布、テーブル掛け、シャツなどの家庭用布類をいう。病棟ではリネン庫(linen room)と呼ばれるところに、タオル、シーツなどがしまわれている²⁹⁾。

離被架(りひか)

bedcradle[英]創部を寝具から離し保護する半円形の装置。

(2) ベッド

オープン ベッド

open bed[英]クローズド ベッドをオープンするという意味があり、 Spredd を折ってすぐ患者さんが使える状態にすること。

回転ベッド

turning frame bed[英]体位変換が自分でできない患者に用いられるベッド⁴⁰⁾。

ギャッチ ベッド

gatch bed[英]床上安静を保ちながら上体を起こしたり膝を曲げたりすること(体位変換)ができるベッド。ベッドについているハンドルを回すことにより、角度が調節できる。

クローズド ベッド

(関)gatch up(ギャッチアップ)[英]
closed bed[英]ベッドメイキングの基本。入院患者さんに対応できるようにシーツを敷き、まくらを揃え、 Spredd というベッドカバーで包んで準備の整った状態のベッド。使えないように閉めているベッドではない²⁹⁾。

スケール ベッド

scale bed[英]ベッドの足に重量計がついていて、患者さんがベッド上に臥床したままで体重が測定できるもの。バランスベッドともいう。

ハード ベッド

hard bed[英]脊髄損傷や四肢の骨折など整形外科の患者が使用するベッド。

フレーム ベッド

frame bed[英]牽引装置や患者の機能訓練を助けるためにベッドに枠を取り付けたりはずしたりすることのできるベッド⁴⁰⁾。

ベッド

bed[英]病院のベッドは、消毒、清掃が簡単で、しかも耐久性があることが求められるので、機能性を第一とした鋼鉄製でエナメル塗装をしたシンプルなデザインのもので用いられる⁴⁰⁾。

ベッド造り

bed-making[英]ベッドメイキング

[参考文献]

- 1) 日常会話 医療用語集 改訂第6版. 株式会社ミクス. 1997.
- 2) 縮刷医学英和大辞典 第10版. 南山堂. 1994.
- 3) 新常用歯科辞典. 医歯薬出版.
- 4) 歯科医学大辞典. 医歯薬出版.
- 5) WATANABE'S POCKET MEDICAL DICTIONARY. 医学書院.
- 6) 医学略語小辞典 第2版. 金芳堂.
- 7) ポケット版カルテ用語辞典 第2版. 小学館.
- 8) 看護カルテ用語 [和+英+独] 看護のための医学用語集 改訂版. 金芳堂.
- 9) 実用最新 病医院用語の基礎知識. 日本医療企画.
- 10) 研修医ノート 改訂第2版. 診断と治療社. 1996.
- 11) 入門 顎関節症の臨床. 医歯薬出版.
- 12) ターミナルケアマニュアル 第2版. 最新医学社.
- 13) 最新医学大辞典. 医歯薬出版.
- 14) 口腔外科学. 医歯薬出版.
- 15) 看護学大辞典 第4版. メヂカルフレンド社.

- 16) エスカ 食品・栄養・健康用語辞典. 東京 同文書院.
- 17) 医療用具の一般的名称と分類. 厚生省薬務局 監修. 薬事日報社.
- 18) 南山堂 医学大辞典 改訂17版. 南山堂. 1990.
- 19) 標準口腔外科学. 医学書院.
- 20) 新外科学大系 2 外科診断学. 中山書店.
- 21) 癌の進化論. 培風館.
- 22) カルテ記載のための歯科用語集 和・英 第5版. 医歯薬出版. 1996.
- 23) 形成外科手術書 改訂第3版. 南江堂.
- 24) SCOPE 別冊 改訂136語 気になる英語医学用語の解釈. 日本アップジョン株式会社.
- 25) シスプラチン—その臨床応用—. (株)協和企画通信.
- 26) 三田俊夫. ドクターショッピング. 臨床精神医学 25(7):847-849, 1996.
- 27) 和・英・独・ラ 対照カルテ用語 改訂版. 金房堂.
- 28) 大村敏郎. P.J. デソーとその処置デブリドマンについて.
日本医史学雑誌. 41(2):152-153, 1995.
- 29) 米山公啓. 聞きのがせない医者語ナース語 Ver.2. アドア出版. 1994.
- 30) 楽しい医学用語物語. 医歯薬出版. 1993.
- 31) 医学ユーモア辞典 増補版. 株式会社ミクス. 1997.
- 32) 病院と病気の英語辞典. 南雲堂フェニックス. 1994.
- 33) 日本人永久歯解剖学. アナトーム社. 1962.
- 34) 保険請求事務てびき. 神奈川県歯科医師会. 1996.
- 35) Nakachi K, Imai K, Suga K. Some evidences of molecular epidemiology
in cancer research. *J Epidemiol* 6:S125-S129, 1996.
- 36) 病理と臨床 Vol.15 臨時増刊号:43-43, 1997.
- 37) 口腔顎顔面外科治療学. 永末書店.
- 38) Charles A and Janeway Jr (笹月健彦監訳). *Immuno Biology* 免疫生物学. 南江堂. 1995.
- 39) E・キューブラー・ロス (川口正吉訳). 死ぬ瞬間. 読売新聞社. 1971.
- 40) 標準看護学講座 12 看護学総論 2. 金原出版. 1987.
- 41) 堀内正敏. 頭頸部扁平上皮癌の臨床病理学的予後因子. 癌と化学療法.
23(3):257-264, 1996
- 42) 大久保 憲. 周手術感染. *INFECTION CONTROL*. 1(1):55-61, 1992.
- 43) MINOR TEXTBOOK 放射線治療学 第2版. 金芳堂. 1996.
- 44) 特集二次がん. メディカル朝日 3月号. 朝日新聞社. 1997.
- 45) Hall, E.J.: *Radiobiology for the radiologist*, 4th ed.,
J.B. Lippincott, Philadelphia, 1994.
- 46) 日医ニュース. 第875号. 1998.
- 47) 藤田紘一郎. 笑うカイチュウ. 講談社. 1997.
- 48) ナース・ドクターのための注射法マニュアル. 南江堂. 1992.
- 49) 菅原克彦監修. 外科病棟医のための術前・術後管理. 金原出版.
- 50) 実証 申し送り廃止. 日総研出版. 1993.
- 51) 小川鼎三 監訳. 図説医学史. 朝倉書店. 1991.
- 52) 患者のための歯科のすべて. 朝日新聞社. 1992.
- 53) エキスパートナース MOOK 17 最新・基本手技マニュアル. 発行 照林社、 発売 小学館. 1997.
- 54) 本間日臣 編集. 睡眠時無呼吸症候群. 克誠堂出版. 1996.
- 55) Slaughter D.P., Southwick H.W. et al: "Field cancerization" in oral
stratified squamous epithelium. *Cancer* 5:963-968, 1953.
- 56) Theo Colborn et al. 著 長尾力 訳: 奪われし未来 OUR STOLEN FUTURE. 翔泳社. 1997.
- 57) Wilmut I, et al: Viable offspring derived from fetal and adult mammalian
cells. *Nature* Feb 27; 385(6619):810-813, 1997.
- 58) J.D. Watson and F.H.C. Crick: Molecular structure of nucleic acids. *Nature* April
25; 171:737-738, 1953.
- 59) 林 浩一郎: 教育研修講演 MRSA の基礎と臨床. 日整会誌 67:684-691. 1993.
- 60) Goldstein D, et al: *Diabetes Forecast* 47:22-25, 1994.
- 61) 三浦 直ら: 抗菌性洗口剤リステリンによる唾液中およびデンタルプラーク中細菌殺菌効果. 歯界展望 89(1). 241-246, 1997.
- 62) 荒川浩久: 洗口剤の基礎知識. 歯科衛生士 21(8). 16-29, 1997.
- 63) 奥田克爾: 老人性肺炎予防のための抗菌性洗口剤. 歯界展望 87(6). 1409-1418, 1996.

あとがき

1996年3月20日の国家試験、その2日後の3月22日に歯科大学の卒業式を終えたばかりの私に、4月1日から横浜市立大学口腔外科での研修が始まるとの連絡がありました。慌ただしく引っ越しの支度をした私は、6年間住み慣れた部屋を後にし、3月30日から憧れていた横浜での生活を始めました。それ以来、横浜市立大学附属病院で5年間、その後2年間を横浜船員保険病院で口腔外科の診療に従事し、気づけば7年の歳月が過ぎました。

横浜市大口腔外科での診療は、病棟業務が半分以上であり、分からないことだらけでした。その中でも私が何よりも分からなくてとまどったのは、病棟で当たり前のように交わされる看護用語での会話です。歯科診療は、外来での歯科治療が主であり、卒前に入院患者さんの処置を学ぶ機会は、ほとんどなかったからです。

それから私は、分からない用語をメモして文献やネットで調べ、パソコンに記録をしました。こうして完成したのが、この医療用語集です。あれから25年の年月が過ぎ、内容が古くなってしまっている部分があります。いつか内容を更新しようと気になっておりましたが、開業医として日々の診療に追われる中、更新をあきらめ、アーカイブとして残そうと決めました。そんな訳ですので、現代に通用しない部分が多々あることをご容赦の上で参考にしていただければ幸いです。

この用語集が、歯科と医科、外来と入院、歯科医師と他の医療従事者、さらには医療従事者と患者さんをつなぐ架け橋となることを、そして古くなった内容を更新して新たな用語を付け加えてくれる方が現れることを期待しております。

最後に横浜市立大学でお世話になった多くの先生方に深く感謝申し上げ、本医療用語集のあとがきといたします。

2023年6月4日

デンタルオフィスみなとにて記す

露木 良治